

経営比較分析表（平成30年度決算）

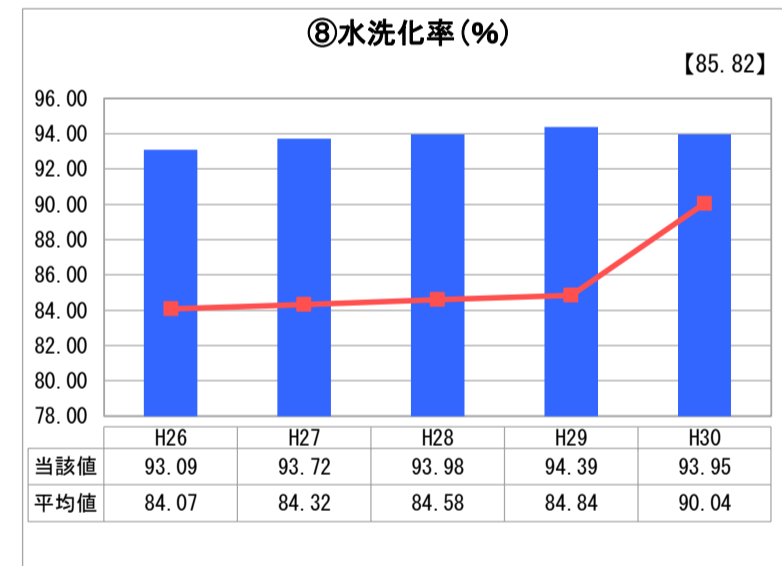
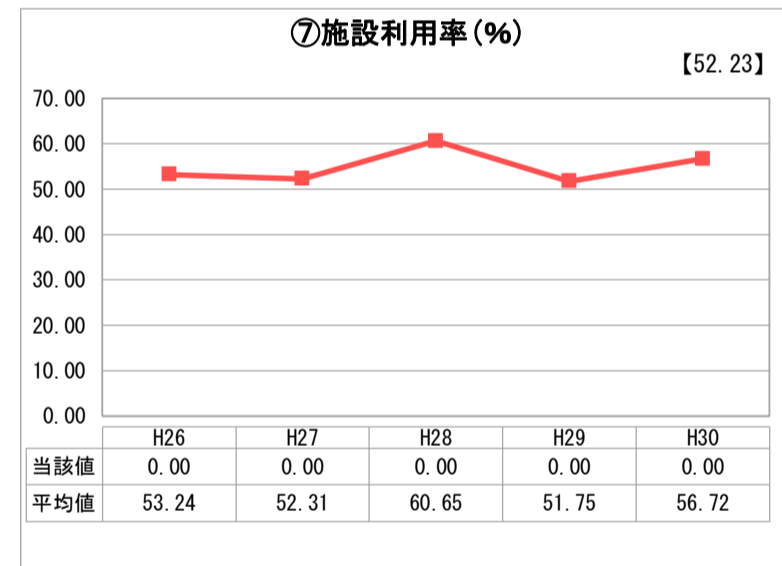
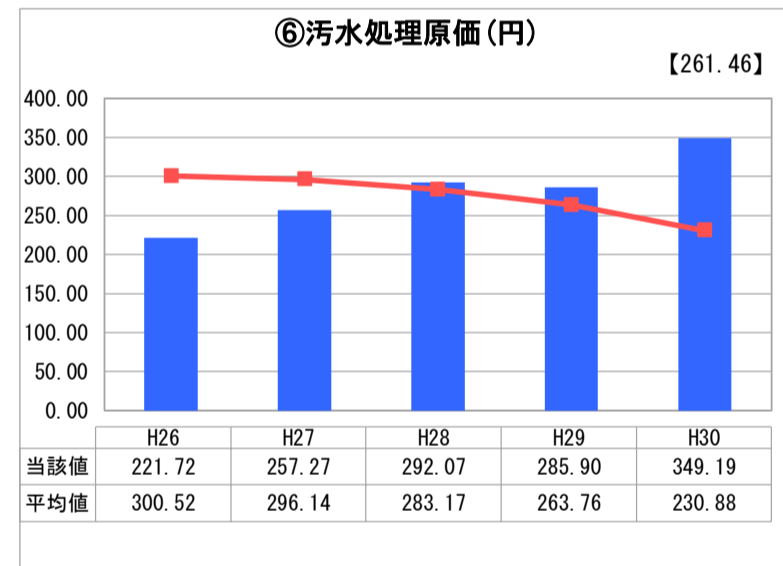
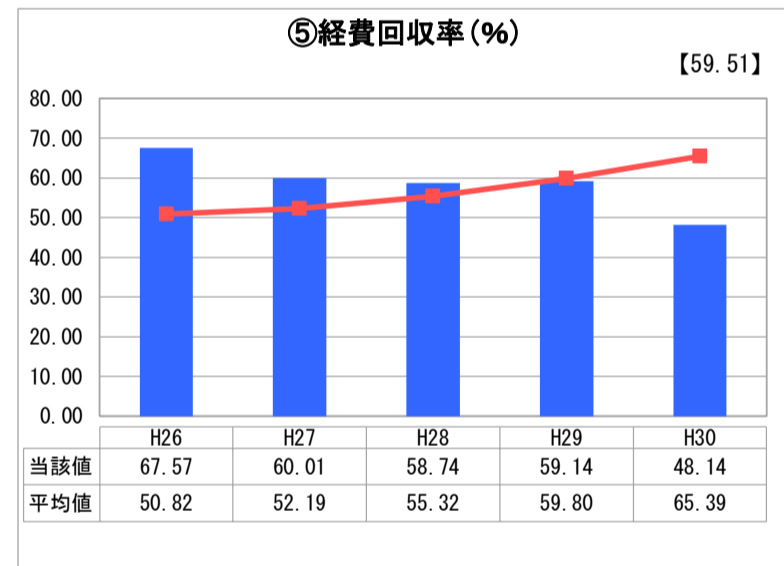
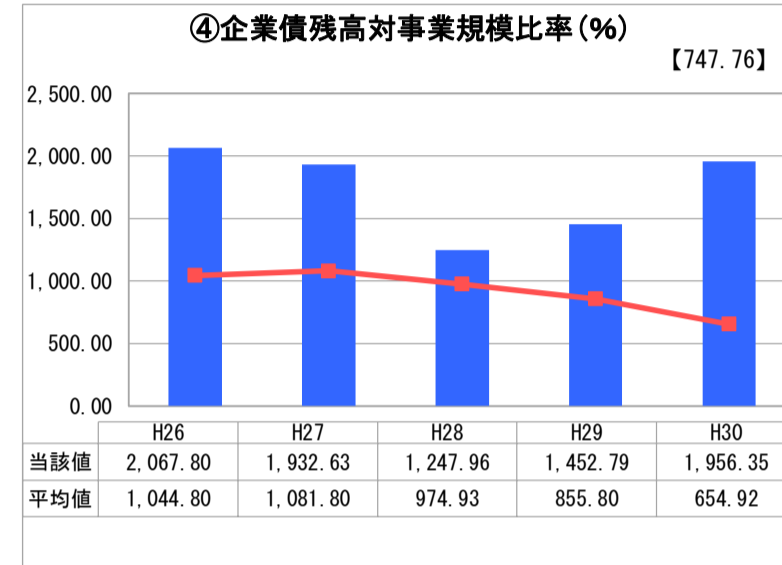
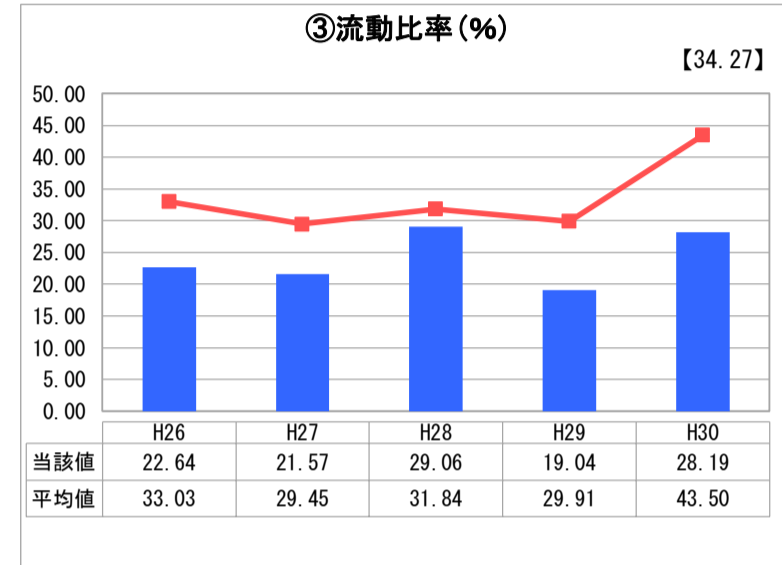
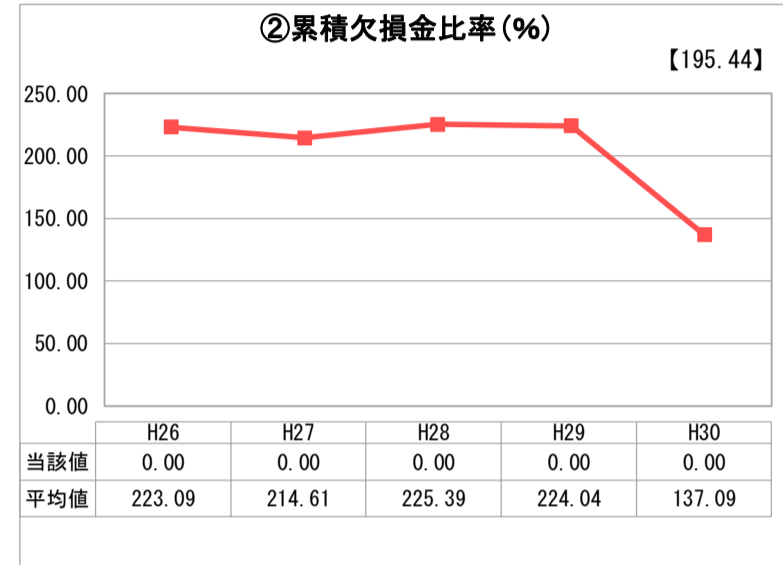
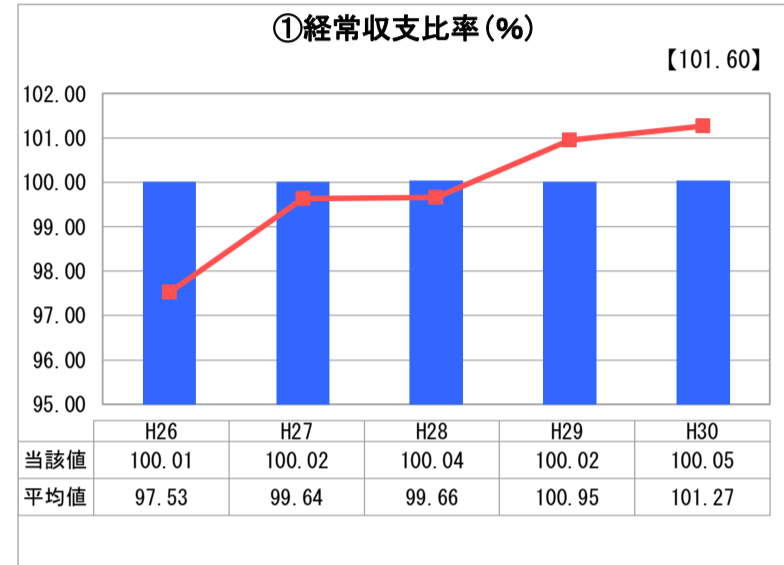
兵庫県 豊岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.31	10.74	95.55	3,348

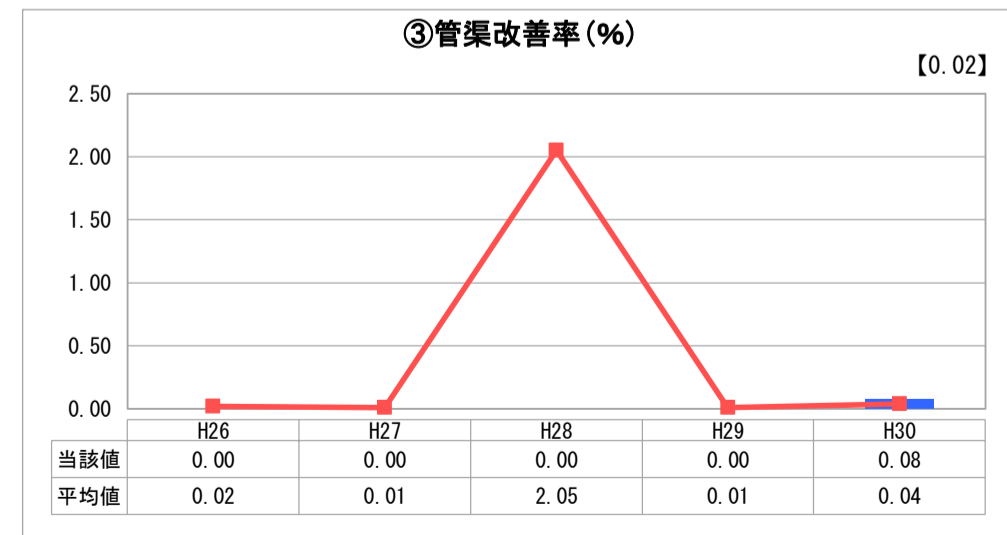
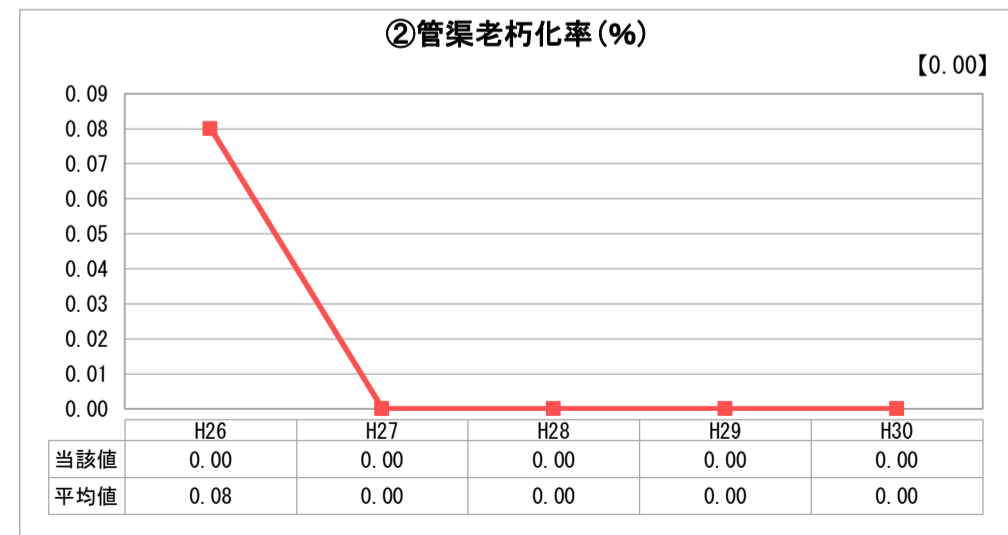
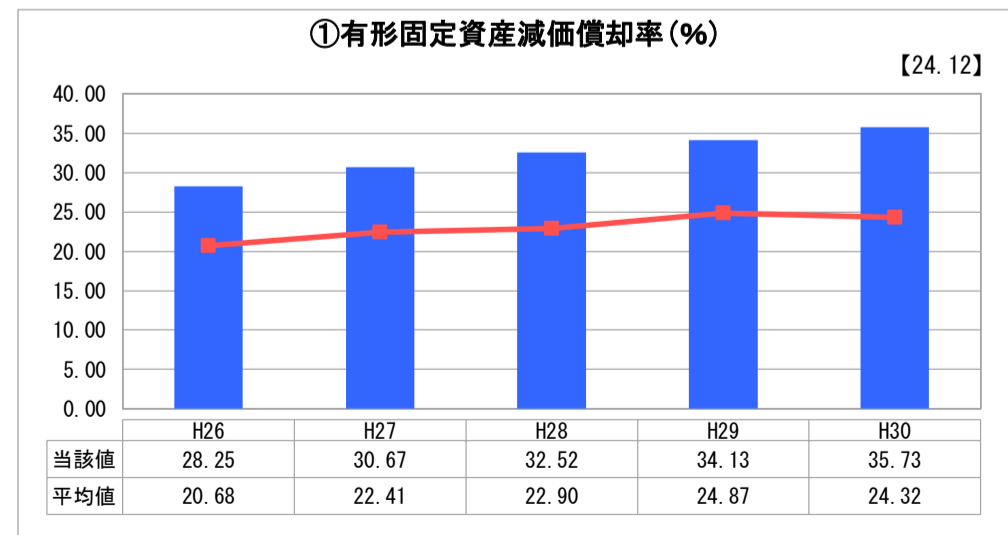
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
82,037	697.55	117.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,748	2.60	3,364.62

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

⑤経費回収率および⑥汚水処理原価が悪化している。人口減少に伴い使用料収入の減少が進む中、汚水処理に係る費用が大きくなることが原因である。そのため、統廃合、長寿命化を積極的に取り組み経営改善を着実に進めている最中である。
③流動比率が低い理由は、流動負債のうち企業債が占める割合が多いためである。関連して④企業債残高対事業規模比率についても多くなり、類似団体と比べても高くなっている。

2. 老朽化の状況について

類似団体よりも償却率が高く、施設の老朽化が着実に進んでいる。
既存施設の老朽化が進行するなか、下水道処理区の統廃合、処理場の機能強化等を計画的に進めている。
統合される農業集落排水事業の施設については、今後、施設の維持管理費の増加、下水道使用料の収入の減少が予想される状況において、統廃合により処理場をポンプ場へと改築する。
また、統合されずに残る農業集落排水施設については、機能強化を図り適正な規模の施設にしていく。

全体総括

下水道使用料収入が増えたことで、着実に改善されつつある。
処理区の統廃合、施設の長寿命化を合理的、計画的に進めていき、効率的な業務を行うことが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。